



問 成羽病院の運営形態の方向性について

黒川康司 議員

答 運営形態について公営企業法の全部適用としていく



南東側から見た成羽病院外観

成羽病院について
黒川 成羽病院の運営形態は、現在地方公営企業法の一部適用（財務）であるが、今後もこの形態で運営するのか。また、全部適用とする場合の事業管理者選定の方向性と時期はどうか。
市長 公立病院改革プランにおいて病院事業管理者を選定し、地方公営企業法の全部適用としての方向性が示された。平成23

年度からの全部適用を目指すし、病院事業管理者の選定について鋭意努力してきたが病院経営全体にかかることであり、適任者の選定に手間取っている状況である。今後においても方向性は地方公営企業法の全部適用とし、そのもとで成羽病院の経営を行っていく考えである。このため事業管理者を関係機関へお願いしているところだ。まだ決まっていないことについては大変申し訳なく思っている。



新病院の外来待合付近

黒川 外科医師である現在の院長が平成25年3月で退職されると聞いていますが、後任の外科医師は決定しているのか。
病院事務長 手術、外傷といった病状に対応していくためにも常勤の外科医師の確保は重要な課題と考えている。全国的な医師不足の中、常勤医師の確保は大変難しいものがあるが、岡山県や現在派遣を受けている岡山大学病院などの関係機関へ市長自ら足を運んで医師の招聘に向けて鋭意努力しており、現在、候補者の医師と面談を重ね交わしているところである。



問 楢井の展望台付近の伐採が必要では

石井聡美 議員

答 関係機関と協議して対応したい

産業振興の拠点づくりについて
石井 産業振興は企業誘致だけに頼っている時代ではない。企業を誘致するだけではなく、市の中から産業を興していく必要がある。高梁市で商売や会社を始めたいと思っている若い人たちへの支援策はあるのか。
産業経済部長 全市的な定住人口増加のために「住みたいまち高梁創造ネットワーク」という団体が、空き家や空いた土地の調査を進めている。

また、つまり次第、市のホームページを通じて情報を発信していく。
石井 資金的な支援についてはどうか。
産業経済部長 現在は商店街の空き店舗を活用した場合、12カ月間、家賃の2分の1を助成している。こういった制度を全的に広げていくことも必要だと認識している。
石井 伝統産業の伝承をする高齢者と、現代的なセンスを持つ若者が協力してものづくりができる場所が必要だと思うがど

うか。
産業経済部長 川上町の民芸品等共同創作センターやフラワーフルーツパーク、備中町の漆加工伝承センターなどがあるが利用者が少ない。ものづくりを志す人や地域の振興に役立ててほしい。
観光施設の整備について
石井 駅前再開発に合わせて、NTT西日本のビルを観光センターとして活用できないか。
産業経済部長 転用は難しい。現在は駅前と観光

バス駐車場に案内所がある。現在の観光案内所は駅前広場の整備に合わせて移転するので、場所については広場の整備とともに検討する。
石井 市や観光協会のホームページに掲載されている雲海の備中松山城は、現在、撮影場所に木が繁り過ぎて見ることができない。掲載している以上、整備が必要ではないか。
産業経済部長 近年、意図的に雲海の中の備中松山城をPRしてきたこともあり、その場所に行っ



楢井の展望台では繁った国有林が眺望を阻害している

てみたいという方が増えている。展望台の前は国有林になっていて、今後関係機関と協議して、十分な眺望を得られるようにしていきたい。



問 ノーテレビデー、ノーゲームデーについて

長江和幸 議員

答 家庭への働きかけを校長会で指示している



「教育のまち高梁」を目指して

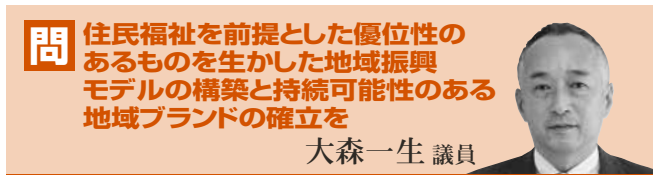
教育長の所信について
長江 教育長に再任される今後4年間どのような姿で教育長の所信について
勢で教育行政に取り組むか、どのような夢をお持ちか。
教育長 国づくりは教育、国が栄えるも衰退するも教育である。これまで経験したことを生かし教育行政にあたっていく。私の夢は責任を自覚し、情熱を持ち、高梁の

教育は素晴らしい、高梁で教育を受けさせたいと言われるような「教育のまち高梁」の実現である。
不登校の児童・生徒の対策について
長江 知事は、「教育再生」に取り組み教育岡山山の復活を掲げている。高梁市は、不登校の児童・生徒にどのように取り組んでいるのか。
教育長 各学校で担任を中心に家庭訪問、電話連絡を行っており、不登校

は年々減少している。今後、不登校に関する教員の指導力向上を図るため県の施策を活用し、問題の解消に努めていきたい。
ノーテレビデー、ノーゲームデーについて
長江 ノーテレビデー、ノーゲームデーは、家族のふれあいや本に親しむ時間を増やし、我慢することを教える意味でも必要であると思うがどうか。
教育長 本市では平日3時間以上、テレビやDVDを観ている子どもたちが47・4%いる。我慢する気持ち、忍耐力を育てることは大切である。規範意識を培う意味でも、家庭への働きかけを校長会で指示している。



教育長 本市では平日3時間以上、テレビやDVDを観ている子どもたちが47・4%いる。我慢する気持ち、忍耐力を育てることは大切である。規範意識を培う意味でも、家庭への働きかけを校長会で指示している。



問 住民福祉を前提とした優位性のあるものを生かした地域振興モデルの構築と持続可能性のある地域ブランドの確立を

大森一生 議員

答 目指すべき方向であると思っている

高梁市の経済対策について
大森 日本は失われた20年と言われ、大変厳しい状況になっているが、これからの高梁市の方向性についてはどうか。
市長 高梁市内でお金が循環するような、経済対策や福祉対策を進めていきたい。
大森 交流人口100万人を目指すとしているが、需要に対して地域の供給能力が乏しい状況にあるのではないかと

市長 官・民一体となって頑張っていきたい。
大森 現職舎解体撤去について情報が錯綜しているが、再度確認する。
市長 現職舎は解体撤去し、西口広場整備を進める。
朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の活用について
大森 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の現在の価値の分析とその可能性の検討を。低コストで運営できるようにリノベーション（新しい

付加価値の構築し、住民福祉をセットにした再生活用を考えてはどうか。
市長 よい提案をいただいた。新しい付加価値をつけることによって住民福祉の向上を図ることは重要であり、早急に検討したい。
「懐かしい未来都市高梁の創造とリノベーション」という地域振興モデルの構築と地域ブランドの確立を
大森 優位性のある地域

ブランドの確立と、それを核とした高齢化社会にも対応したスローなまちづくりと、ツーリズム型と福祉型サービス産業の連携による地域資源を生かした産業振興の構築を。
市長 これからの高梁市が進むべき方向であると思う。いろいろなものを

